

# Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

2015～2016年度RI会長

K.R. ラビンドラン



第2780地区  
大磯ロータリークラブ

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県中郡大磯町国府本郷546大磯プリンスホテル内 TEL：0463-61-1111(木) TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：毎週木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281

会長 河本 親秀

会長エレクト 百瀬 恵美子

幹事 大藤 勉

第2353 例会

平成27年12月10日 No.21

■司会：田中 敏治

■点鐘：河本 親秀

■合唱：我等の生業

◇プログラム ・12月17日：年次総会、家族例会

例会	会員数	出席数	出席率	メイクアップ	修正出席率	◇欠席者(6名)
2353回	17(15)	9	60.00%	—	—	小林、宮澤、石山、原、太田 笹尾さん
2351回	17(15)	7	46.67%	—	—	◇メイクアップ(0名)

◇ゲストスピーカー：



米山奨学生  
アルウィン・  
スプリアント君  
12月奨学金手交

は出席するとのお話がありました。元気回復されてきた様子で嬉しいです。

1. ローター研究会報告：

(1) 先週フォーラム終了後直ちに東京台場のホテル・グランパシフィック・Le・Daibaで開催中の第44回ロータリー研究会に出席し、「未来への懸け橋」をテーマにしたセッションでROTEX（青少年交換学生OB）の真鍋要一君（2780地区派遣学生）、我がクラブがスポンサーした財団グローバル奨学生の高谷紗帆さん、ローターアクターの奥田裕君他2名による発表を聞く事が出来ました。高谷さんの話は国境なき医師団での経験をした上でロンドン大学に行かれ、多くの国から来た医師留学生と交流した経験を踏まえての話（約15分）で、高谷さんの人柄がにじみ出た良いお話しでした。高谷さんには1月14日の例会に来て頂いて懇談出来ることになっています。

(2) その翌朝、同じ会で「財団補助金の実践報告」があり、平塚湘南クラブの吉野龍彦会長からグローバル補助金を使って「水と衛生プロジェクト」としてフィリピン・シキホール島で実施された島内水道設備の設置についての報告（約20分）＝電気で

◇おめでとうございます

結婚記念日祝：太田知加子さん(12/8)

太田さんより「昨日の結婚記念日のお花有り難うございます。皆様に宜しく」との感謝のメールが来ています。

◇会長報告

河本親秀会長

昨日笹尾さんから電話があり、以前に作った「笹尾正儀さん奮闘人生記」を2冊作って欲しいとの依頼があり、その時10日は休むが、17日



送水する水道ではなく、高低差を利用しての水道という環境に合ったユニークな方式で作ったと言うお話でした。

この事例発表の他にネパールで実施している山羊を住民に貸し与えて、山羊を増やす事、返済は生まれた山羊で支払う事、乳製品を作る事で自立の手立てを提供している「経済と地域社会の発展プロジェクト」=木更津RC。 広島南RCがカンボジアで実施している「疾病予防と治療」(VTT)=日本から医師が出向いて行う=プロジェクトが発表されました。

(3) 最近のロータリー研究会は事例報告が中心で、ロータリーの精神や職業倫理など精神面・理論面の話は少なくなりました。

(4) このロータリー研究会にはRI会長、ロータリー財団管理委員長(今回は田中作治日本のロータリー財団管理委員が代理出席)、RI理事出席の下に開催され、今年は日本全国からDG(ガバナー)、DGE、DGN、ADG等約600人が出席しています。

## 2. 会員増強実行委員会の設立

先週の会員増強フォーラム出数々の良い意見を頂きました。会報にも掲載しましたが、改めて意見を纏めたメモを今日皆さんにお配りしました。その中でこのフォーラムでの意見を実行する為に実行委員会を立ち上げたいと思います。例会後の理事会で検討承認して頂きたいと考えています。

## 3. 総会:

来週は総会です。初め夜間例会とする予定でしたが出席者が少ないので、急遽、昼間に切り替えました。総会の後は懇親会で百瀬さんが面白い企画をされていますので、どうぞ楽しみにお出で下さい。

## ◇幹事報告

回覧:

- (1) 志木RCから会報
- (2) 例会変更: 平塚。平塚西、寒川RC

## 大藤勉幹事



## ◇委員会報告

### ☆スマイルボックス

### 百瀬恵美子さん

・河本親秀さん: アルウィンさん、ようこそ。卓話楽しみにしています。太田さんから 昨日 結婚記念日の花有難うございました。皆様によろしくとのメールが参りました。

・新宅文雄さん: アルウィン・プリアント博士? の卓話、期待しております。

・田中敏治さん: 皆様、こんにちは。アルウィンさん、卓話、宜しくお願ひします。

## ◇斎藤 正淳さん: i P S細胞研究基金



京都大学のi P S細胞研究所の山中教授へ不動産を処分したのに上乗せして寄付しましたら、是非京都へお越し下さいと言われましたが、私は先生の研究時間の方が大切ですから、東京にお出でになる機会がありましたらお会いしようと言ったら11月30日に丁度東京で研究会があるので30分の報告の前の15分間、東京海上のビル15階=皇居が見える素晴らしい場所=を取って頂いて、研究所のお金の話を聞きました。

収入・支出の表(回覧・概要下記)があるのでご覧下さい。毎年集められる金額が3~5億円で、私の寄付で大分助かったとおっしゃっていました。今年はそれが増えて個人寄付が5億6千万円、寄付した人が6千人、一人大体10万円。

どういうものに支出しているかという、国から、研究者と事務員の費用は出ますが、試験管洗い、データの整理といった細々した雑用=パートの時間給には継続したお金は出ない。せいぜい半年~1年です。しかしこの人達(数十人)を長く雇用して生活させる為にお金が必要。それと研究助手。それがないと研究の大部分をそちらに割かなければならない。案外大きいのが世界各国のpatent取得=他人のpatentを使うと莫大な費用がかかる。こちらが取ればpatent料が入る=の為の専門家を雇用する費用1千万円以上=これは国は出さない。30年間雇うと3億円のお金が掛かる。これらの費用は国から出るお金より大きい。その準備をしなければならない。その為に使わせて頂きますという話を聞きました。

研究内容は: 今までの研究は骨の細胞の一部を取って培養して骨にだけ使える細胞。心臓はその一部を取ってそれに使うと言う研究。彼がやっている研究は、皮膚をこすって取る細胞、それが心臓にもなるし骨にもなるし何処にも応用できるものが出る。それを培養して行けば何千、何万にもなる。一番応用に使いやすいのは薬の実験をする事。この薬が心臓の筋肉の何処に効くか試すときに心臓の細胞だけから取って培養するには数が少ない。しかしi P S細胞からだとは何千何万個が出るので、Aの試薬、Bの試薬、Cの試薬...をいっぺんに何百も同時に試す事が出来るので実験期間がうんと短縮される。



次はその細胞から病気になる遺伝子を取り出し、これを入れれば病気にならないという遺伝子と交換し、培養する。今既に目の網膜細胞が出来ていて、今神戸の理化学研究所の分院で実際に提供されるようになった。あと2年で心臓が出来るでしょう。何処の臓器でも全部使える。製薬会社が目をつけているのは試薬の動物実験が成功して、人間の細胞に使う時、iPS細胞を使うと同じ共通のデータを持つものに別々の試薬を入れてどう言う結果が出るか、調べる事が出来る。

このための動物を飼ったり、人間の細胞を造ったりする助手の費用が出ない。Aクラスの研究者の費用は国から出るが。外国の場合は助手の費用まで出る。だから研究者は研究に専念しやすい。日本は語学が出来なければ翻訳者まで雇わなければならない。

このiPS細胞研究基金からは年に2度報告書が出て、研究費用がどれほど掛かるか分かる。寄付など赤十字社に出しても何に使われるかも分からない所よりは、こういう所の方がやって良かったなあと実感します。

山中先生は人柄の良い方で、会っていてもほのぼ



のする。背の高い人だと思っていたら、私と同じくらいでした（写真）。亡くなったお父さんが糖尿病だったそうで、「私もその臨床の道を志したんですが、整形外科を2年やったら、もう辞めた方が良

いと言われて逃げ出しました。」などと言う話をされてきました。

皆さんも寄付される時のご参考になればとお話しを致しました。

#### 2014年度 i P S 研究基金の収入・支出の概要

収入：	件数	寄付金額
個人	6,034	5億6,643万円
法人・団体	458	2億1,353万円
合計	6,492	7億7,996万円
支出		
人件費		1億7,337万円
研究費		2,247万円
知財管理費		847万円
研究所運営補助費		3,601万円
合計		2億4,033万円

2014年度末残高：29億7,983万円

2015年度支出計画：3億6,800万円

◇田中SAA：テーブル上のリンゴは百瀬さんのお土産です。

## ◇卓話

◆◆◆アルウィン君の

卒業論文のテーマ◆◆◆

米山奨学生アルウィン・スプリアント君



32枚のスライドを使って、40分間アルウィン君の博士論文のテーマが発表されました。

テーマ：

新興国市場戦略の資源論的側面について

- 「イノベーターのジレンマ」 -

#### 先行研究の課題

新興国市場戦略のジレンマ

・新興国の市場の非連続性：

・資源の非連続性：

新興国市場への展開について

・日本企業の問題：過剰品質、高価格

現地市場へのミスマッチ

・研究アプローチ：

①新興国市場戦略論

②経営資源論

③イノベーターのジレンマ

上記テーマをホンダ二輪車事業の新興国（主にベトナムと中国市場）での事業展開=連続的イノベーション、破壊的イノベーション=を事例にとっても興味ある解析説明がありました。詳細についてはアルウィン君提供のPPT資料を参照下さい。（アルウィン君の同意を得ましたので、ホームページに全32枚のスライドを掲載します）

以上